

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ赤塚支援教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・3教室合同で職員が配置されている為、個々に合わせた支援員方針の擦り合わせや様々な意見交換を行う事が出来る。 ・連絡事項などをグループラインや公式ラインを釣用する事で連絡の抜け漏れをなくす取り組みをしている。 ・毎日職員MTを行う事で、連絡事項や支援方針の共有を行う事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡の抜け漏れや保護者様、利用者様に寄り添った対応、個々に合わせた支援方針を継続的に考え、明確にお伝え出来るように努めている。
2	保護者との関係性	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時やお迎え時に日々の様子や気づきを伝えると共に相談事がある時には速やかに対応を行う。また、面談を行う等して、満足の頂ける支援の提供に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の気づきやご相談事に対する返答がより明確に満足の頂けるよう改善に努めている。
3	多機能化	<ul style="list-style-type: none"> ・多機能として生活介護を行っている為、卒業後にも通える施設作りを行っている。 ・地域イベントにて生産活動で作成した物を販売、地域の方々に生活介護、児童の事を知ってもらう機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産物が固定にならないよう、お客様からのご要望などを含め、新しい商品を考え、生産活動に努めている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化や設備拡張が、設備状難しい為、より安全に通える教室作りを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備状部屋を拡張する事は難しい為、3教室合同で教室を使用している為、活動毎に部屋を分けて対応を行う。また、設備状バリアフリーに立て直す事は難しい為、簡易スロープを置くなどして、問題点が発生した場合やバリアフリー化が出来るよう改善を行う。
2	多機能化	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が増えていく事や身体のお子様が今後の利用を検討しているとお話も伺っているので、職員配置や設備の検討を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体のお子様等が卒業後に通う事を検討している方が多くいますので、身体に障がいをお持ちのお子様でも通える体制作りを今後の課題として検討する必要がある。
3			